

中世・近世の平瓦製作技法

<http://www.kyoto-arc.or.jp>
 (財)京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館



戦前の造瓦器具と出土瓦 右は金閣寺出土、左は近世の瓦。(造瓦器具は京都府立山城郡土資料館蔵)

市内の遺跡を発掘調査すれば、いたるところで多量の瓦が出土する。わかりやすい平瓦の時代決定方法は、古代の平瓦には凹面に布目、凸面に叩き締め痕跡が見られるのに対して、中世もなかばになるとそれらの痕跡が見出せず、両面に離れ砂の付着した痕跡をとどめる点にある。さらに、近世瓦では離れ砂がまったく見られないことによって簡単に識別できる。このうち古代の平瓦製作技法は、ほぼ解明されたのに対し、意外なことに中世・近世の平瓦の製作技法は何もわかっていないのが実状である。中世・近世に発展する商

品としての瓦生産は、商品価値を高めるために製作過程を示す痕跡を意図的に消そうとする。ここに、中世・近世瓦の製作技法を復元することの難しさがある。しかし、技術の流れからそれを復元する方法、すなわち機械化される以前の近代の技法からさかのぼって推理する方法と古代の技術の発展として捉える方法によって、ある程度のアプローチは可能であろう。

民俗学的調査によると、戦前の平瓦の製作技法は次のとおりである。あらかじめ瓦の大きさに切った生の粘土板(アラジ)をカマボコ状の凸型成形台(アラガタ)に

4～6枚積み重ね、そのまま形が崩れなくなるまで半乾燥させる。その際、粘土板が互いに付着しないように粘土の粉(フリコあるいはスナとよばれていた)をまいて離脱材とする。その後、凹型の調整台(キガタ)に移し替え、瓦の表面を様々な道具できれいに調整してミガキ込む。この丁寧な調整によって製作技法の痕跡は消滅する。

この近代まで行なわれている技法(これを「凸型成形台積み重ね技法」とよぼうと思う)によって製作された平瓦が、近世の平瓦とほとんど同一であることから、そ

のまま近世にさかのぼる技法であったと考えられる。では、この技法は中世の平瓦にまで適用できるものなのであろうか。問題を解く鍵は、中世の平瓦の両面に離れ砂が付着している点にある。それは近世・近代を通じて用いられていた離脱材としての粘土の粉が一部の地域ではスナとよばれていたことを思い起こせば、中世の平瓦になぜ両面に離れ砂が付着しているのかという疑問も氷解する。すなわち、それは凸型成形台に粘土板を積み重ねる際にふりつけたのである。

では、この粘土板を積み重ねて造る技法はどのようにして古代から発展してきたのだろうか。瓦作りが日本に初めて伝えられた飛鳥時代には、平瓦はいわゆる桶巻き作りであった。それは、布を巻き付けた桶型に粘土板を巻き付けて



瓦職人の図

『目で見る江戸職人百姿』国書刊行会 1985年より転載



凸面



凹面

古代の平瓦



凸面



凹面

中世の平瓦

叩き締め、半乾燥した後に4分割して製作された。それが平城宮の造営が行なわれた奈良時代には、凸型成形台による一枚作りが一般化する。この中世平瓦の成立の直接的な前提となる一枚作りは、凸型成形台に布を敷き、その上に粘土板を置き凸面を叩き締めて一枚ずつ成形・半乾燥させた。したがって、古代の平瓦には必ずといってよいほど凸面には叩き締めの痕跡、凹面には布目が見られる。それに対し、少なくとも室町時代のはじめには同じ凸型台を用いながらも凸面の叩き締めに省き、離脱材として布ではなく砂を用いることによって一度に数枚積み重ねて成形・半乾燥させたと推測できる。離れ砂は、古代においては瓦当范^{びんたが}の離脱材として、または凸面を叩きやすいように使用されてきた。中世平瓦の製作は、すでに古代において用いられていた凸型成形台と離れ砂を転用しただけなのである。

古代の桶巻き作りは、百濟から渡来した瓦博士と呼ばれる人々によって伝えられた。それは寺院建

立にともなう新しい技術であり、文字どおり高い技術を必要とするものであった。やがて、律令制の成立にともない、官寺の造営があいついで行なわれるようになると同時に、宮の殿舎にも瓦が葺かれるようになり、より単純な技術によって大量生産する必要が生じた。凸型成形台による一枚作り技法の成立である。しかし、この技法は律令体制の崩壊とともに粗雑化への道を歩まざるをえなかった。これら官宮工房での瓦生産の粗雑化とともに進行していた手工業製品の商品化への動きが一つの契機となって、凸型成形台による積み重ね技法が成立したと考えられる。

単純かつ量産化に適したこの技法の成立は、それ以降の平瓦の歴史のなか大きな技術変化を引き起こすことはなかった。中世以降の平瓦の歴史は、瓦職人がただ瓦の商品価値を高めるために、いかにして表面を美しく見せることができるかという点に意識とワザを集中してきた歴史であったといつてよい。(東 洋一)